

環境調査結果のお知らせ

令和7年2月10日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で1 cell/mL、**麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で2,220 cells/mL確認されました。アレキサンドリウム属は二枚貝の毒化が想定される細胞密度を大きく超えています。また、平成29年にはアレキサンドリウム属の赤潮（最高：7,800 cells/mL）により、養殖魚でも被害が確認されていますので、十分注意してください。**

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サンガイネア	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A ガラク (12m) 【10:47】	0	16.0	34.6	7.8	0	0	40	10
	2	16.0	34.6	7.7	0	0	80	7
	5	16.1	34.6	7.7	0	0	60	11
	10	15.9	34.6	7.8	0	0	80	2
	底層 14.5	15.9	34.6	7.8	-	-	-	-
B 勢井 (11m) 【11:25】	0	16.0	34.6	8.0	0	2	10	26
	2	15.9	34.6	8.0	0	1	30	21
	5	15.7	34.6	8.1	0	2	50	39
	10	15.4	34.6	8.4	0	2	60	23
	底層 18.5	14.8	34.6	8.9	-	-	-	-
C 馬の背 (11m) 【11:45】	0	16.1	34.4	8.1	0	2	40	21
	2	16.1	34.6	8.0	0	0	80	4
	5	15.9	34.6	8.0	1	0	30	23
	10	15.5	34.6	8.1	0	0	160	15
	底層 20.5	15.0	34.6	8.4	-	-	-	-
D 大室戸 (10.8m) 【10:30】	0	15.7	34.5	8.3	0	0	80	11
	2	15.8	34.6	8.1	0	0	50	3
	5	15.8	34.6	8.1	0	1	180	8
	10	15.6	34.6	8.0	0	2	60	15
	底層 19	15.0	34.6	8.0	-	-	-	-
E 湾奥ブイ (8m) 【10:06】	0	15.5	34.5	8.8	0	0	30	360
	2	15.5	34.6	8.7	0	2	100	500
	5	15.3	34.6	8.5	0	2	100	540
	10	15.0	34.6	8.4	0	1	160	115
	底層 16	14.8	34.6	8.5	-	-	-	-
F 大谷漁港内 (-) 【12:35】	0	14.7	34.4	11.9	0	3	-	2,220
	1	14.8	34.6	12.0	-	-	-	-
	底層 2	14.8	34.5	12.0	0	1	-	1,320
G 野見漁協前 (-) 【12:25】	0	15.2	34.5	9.9	0	2	-	740
	2	15.2	34.6	9.9	0	3	-	770
	底層 3.5	15.2	34.6	9.8	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サンガイネア	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)				
H 防波堤内側 (10m) 【11:06】	0	14.5	34.1	8.5	0	-	-	0
	2	14.6	34.3	8.4	-	-	-	-
	5	14.7	34.3	8.3	0	-	-	1
	10	14.4	34.3	8.3	-	-	-	-
	底層 15.5	14.9	34.5	8.1	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 湾奥ブイ
- F: 大谷漁港内
- G: 野見漁協前
- H: 防波堤内側